

女性つながりサポート事業【彦根市】

総事業費	1,800 千円
交付金額	900 千円

地域の実情と課題

R元年市民・企業意識調査より本市の女性の就労状況は、男性に比べると「非正規」や「サービス業」で働いている割合が高いと言える。コロナ禍の影響に対する経済的不安、健康不安、また生活全般に対する漠然とした不安や孤独を感じている女性に対し、R3年10月より「女性つながりサポート事業」を実施したところ、利用者からは、事業の継続を望む声が多く聞かれ、引き続き、不安や孤独を抱える女性の居場所づくりや相談窓口の設置をとおり、サポートしていく必要がある。

目的・目標

長引くコロナ禍の閉塞感による不安や孤独などさまざまな困難を抱える女性に対する支援の継続、令和3年度の事業実績から、利用者の声を拾い、一人ひとりの実情に即したきめ細やかな相談体制の充実、「一人にさせない」、「独りを感じさせない」ことによって、コロナ禍を乗り越え、さらに今後に繋がっていく仲間づくりのきっかけとするもの。

〔目標〕○「つなサポサロン」参加者数 60人
 ○「つなサポ相談室」相談者数 60人
 ○専用ホームページ 閲覧者数 5,000人

事業の特徴

コロナ禍により不安や困難を抱える女性に寄り添いサポートするため、①女性相談員による電話や面談によるきめ細やかな相談窓口の設置、②仲間づくりの場の提供、③生理用品の無償提供をする。

①「つなサポサロン」
 毎月第2金曜日10時～12時、サロンに合わせてワークショップ2回

②「つなサポ相談室」
 ・電話相談（水・木 9時～12時、金 18時30分～21時）
 ・面談相談（月 9時～12時、土 13時～16時）・出張相談（4回）

③「スマイルプロジェクト」
 生理用品の購入が困難な女性を対象に生理用品の無償提供

連携団体

事業委託：彦根市男女共同参画センター「ウィズ」
 指定管理者「ウィズで集う会」
 周知連携：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会
 彦根公共職業安定所
 各公民館
 行政（女性活躍推進室・福祉センター・子育て支援センター）
 保・幼・認定こども園
 市内3病院
 市内3大学、市内商業施設

事業の効果

利用者アンケートよりコロナ禍での困りごとについて、54%が「人との交流が減った」で最も多く、ついで47%が「外出制限」であった。気軽に集える場所、人とのつながりを求める参加者からは「毎週参加するのが楽しみ」との感想が聞かれ、支え合いの中で孤独や不安の解消の一助となることができた。

①「つなサポサロン」 参加人数 49人（目標値60人）
 ②「つなサポ相談室」 相談者数 27人（目標値60人）
 ③「スマイルプロジェクト」 生理用品提供 144パック
 ④ 専用HPの閲覧者数 6,029人（目標値5,000人）

今後の課題

利用者アンケートから、コロナにかかわらず、不安や困難を抱える一定数の女性のニーズを把握できたことから、本事業のノウハウを活かし、男女共同参画センター「ウィズ」による既存事業においてより効果的な事業となるよう、検討をしていく必要がある。また、本事業における広い周知を通じ、「ウィズ」の活動紹介にもつなげることができたことから、特定の事情を抱える人については、適切な支援窓口の紹介、自発的なグループ活動への支援を図っていく必要がある。その他、生理用品については、持続可能な生理用品バンクのようなシステムを構築することにより生理用品を必要とする人へ対応できるようする必要がある。

事業の概要

つなサポ相談室

コロナ禍により不安や困難を抱える女性に寄り添いサポートするため、女性相談員による女性専用の相談窓口を設置し、電話や面談によるきめ細やかな相談に対応した。その他、必要に応じて、生理用品を配布した。

〔相談者数〕 27人

〔電話相談〕

水・木 9時00分～12時00分

金 18時30分～21時00分

〔面談相談〕 (要予約)

月 9時00分～12時00分

土 13時00分～16時00分

〔出張相談〕

さくら広場、子どもセンター



1人で悩んでいませんか？

「つなサポ」とは、コロナ禍により、「不安」や「孤独」を抱えている女性に寄り添うためのサポートです。

那根市在住・在勤・在学の女性なら、どなたでもご利用いただけます。



スマイルプロジェクト

生理用品の購入が困難な女性を対象に生理用品を提供し、仲間づくりのきっかけとなるサロンや適切な相談窓口につなげることで、不安や孤独の解消を図った。

〔生理用品配布数〕 144パック

つなサポサロン

男女共同参画センター「ウィズ」を利用し、スタッフがファシリテーターを務め、気軽に話せる場を提供し、悩みを抱える女性同士の悩みの共有や情報交換など仲間づくりのきっかけができた。またサロンと併せて開催したワークショップでは、幅広い女性の興味関心をひくことで新規参加者が参加しやすい雰囲気づくりに努め、参加者同士の交流を図った。

〔参加者数〕 延べ49人

〔開催実績〕

- ・サロン 10回
(第2金10時～12時)
- ・ワークショップ (2回)



沢村 保代 (さわむら やすよ)

メッセージ

うまく話そうとする必要はありません。

今の気持ちを思いっつくままにお話しに来てくださいね。



瀧口 美津子 (たきぐち みつこ)

メッセージ

ちょっとした心配事や困りことから、誰にも相談できない

「体」や「心」の悩みなど、気軽にご相談ください。